

プレママインフォメーション

取材協力/福田病院

第47回

産科医・麻酔科専門医・助産師がワンチーム!

より安全・安心な『無痛分娩』を目指して

赤ちゃんとの出会いは待ち遠しいけれど、何時間ものあいだ陣痛に耐えられるか不安。1人目のときの陣痛の辛さが忘れられない…。昔から「産みの苦しみ」と言われるよう激しい痛みを伴う陣痛。時代の流れとともに、欧米では主流となっている痛みの少ないお産＝無痛分娩を希望する女性が増えています。そこで福田病院では、設備の充実や麻酔科医の増員などを図り、この春から無痛分娩を本格始動。今回は無痛分娩について詳しくレポートします。

無痛分娩は、麻酔を使って陣痛の痛みを和らげながら出産する方法です

無痛分娩とは、麻酔を使用して陣痛の痛みを緩和するお産の方法です。フランスやアメリカでは70～80%が無痛分娩という統計もありますが、日本では約5%ほど。しかし、最近では国内でも“痛くないお産”を望む女性が増加傾向にあります。

意識はしっかりあって、痛みもゼロになるわけではありません

“無痛”とは言いますが、まったく痛みを感じないわけではありません。完全に痛みをとってしまうと、陣痛がわかりにくくなり、いきむことができなくなってしまうからです。部分麻酔のため意識はしっかりとあり、生まれてすぐに赤ちゃんを抱っこすることもできます。

国内外では「硬膜外麻酔」を用いた無痛分娩が主流

日本をはじめ多くの国で行われている無痛分娩の鎮静方法は、脊髄を覆っている硬膜という膜の周囲に、柔らかくて細いチューブで麻酔薬を注入する「硬膜外麻酔」が主流となっています。痛みが取れない場合は、腰椎麻酔を行うこともあります。

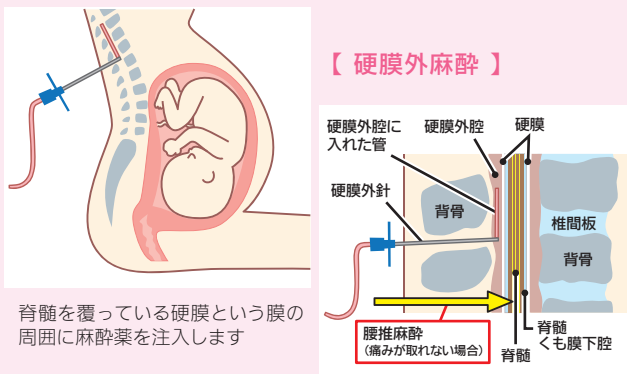
無痛分娩による副作用は…?

麻酔の影響により、①足の感覚が鈍くなって、いきむことが難しくなる、②陣痛がわかりにくい、③血圧が低下する…などの副作用が起こることもあります。また、非常に稀ですが、合併症によって長期にわたり後遺症が残ったり、赤ちゃんに影響をおよぼすこともあります。

リラックスしてお産に臨める、産後の体力が温存できるなどメリットがあります

メリットは、なんとと言っても陣痛の激しい痛みから解放され、リラックスした状態で赤ちゃんを迎えることができることです。さらに体力の消耗も軽減され、産後の育児もスムーズにスタートできます。「初産の際に陣痛の痛みを耐えきれずパニックになってしまった」「赤ちゃんはもう一人欲しいけれど、もうあんな痛い思いはしたくない」…など、過去の経験から無痛分娩を希望する経産婦さんもいらっしゃいます。また、妊娠高血圧症候群や体力的な問題など、医学的な理由で医師から無痛分娩を勧められるケースもあります。

ご本人の希望があり、家族が同意していること。または医学的適応のある妊婦さんで、妊娠37週0日以降、赤ちゃんの推定体重が2500g以上の方が対象となります。もちろん事前に麻酔分娩についての説明を受け、麻酔科医の診察や問診、検査を行うことも前提となります。



お話しは… 福田病院 新堀 曜子先生

無痛分娩のご希望は年々増えています。分娩の流れや注意点など、気になる方は、ぜひご相談ください



安全で質の高い無痛分娩には産科医、麻酔科専門医、助産師の連携が不可欠です

無痛分娩では、麻酔に熟知した専門医の管理下のもと、妊婦さんと赤ちゃんの両方の様子を注意深くモニターでチェックしながら進められます。通常のお産同様、産科医の専門知識や経験値が必要なことはもちろん、麻酔科的な専門知識・技術をもった医師が常駐していることも、成功に導くカギとなります。

そこで福田病院では、今春から熊本大学の麻酔科学講座と連携して、より専門性の高い産科麻酔学に関する寄附講座を新設しました。「痛みの少ない安全なお産を」、「高齢でも、もう一人産みたい」…そのような声に応えるべく、無痛分娩を行う体制づくりを強化していきたいと思っています。

◇無痛分娩に関する詳しい情報は福田病院のホームページに紹介されています



気になるトピックス 完全終息とはまだ言えない今 新型コロナウイルス 妊娠や出産への影響は…?

現在のところ妊娠中の感染報告例は少ないため、わからないことが多いのが実情です。しかし、仮に妊婦さんが新型コロナウイルスに感染しても、今までのところ特に重症化したり死亡率が高まるという報告はありません。ただし、新型コロナウイルスでも治療効果が期待されている抗インフルエンザ治療薬「アビガン」は使用できないため、そのほかの薬での治療が検討されます。

「3密」を避けるなど、基本的な対策を。最も注意したいのが、運動不足による体重増加!

感染しないためには、「3密」を避ける、手洗い・うがいの徹底、不急不要の外出を避けるなど、一般の方の予防法と同じです。もちろん同居するご家族もご協力をお願いします。最近気がかりなのが、自粛生活により運動不足を起し、体重増加傾向の妊婦さんが増えていることです。妊娠高血圧症候群や血栓症などのリスクが高まりますので要注意! 天気の良い日に屋外を散歩するなど、気分転換を兼ねて、軽い運動習慣を継続するようにしましょう。



コアラウェルネス・お待たせ! 6月から マタニティスポーツ講座が再開しました

院内にある女性専用メディカルフィットネスクラブ「コアラウェルネス」。妊娠中の体重増加やストレス解消に役立つプログラムや、ベブースイミング、産後のボディメイクなど多彩な講座が人気です。6月からはまず、マタニティスポーツの講座が再開。定員を5人に限定し、講師と妊婦さんの和やかな雰囲気、エアロビクスやストレッチ、リラクゼーションなどが行われています。



マタニティピクス講座

経産婦の先輩ママと初産ママとの情報交換も。「ずっと家の中だったので、体を動かすのが気持ちいい!」との声もたくさん。腰痛予防の運動や呼吸法など、わかりやすくレクチャーしてもらえます

福田病院にも少しずつ穏やかな日常が戻り始めています



Tel.096(322)9278
レストラン/11:30~15:00
14:30os
※日祝休み
売店/平日 10:00~18:00
日祝は、~17:30



レストランのランチタイムが復活。新しい名物メニューをぜひ召し上がれ



チェスターランチ
カニ身コロッケ、牛乳のステーキ、ライナス・サラダ
付き...1300円(税込)

自然食の店 ナチュラル

赤ちゃん和妈妈・家族一緒に楽しく食事ができる院内レストラン「ナチュラル」。まずはランチのみで営業をスタート。チェスターワンプレートランチや軽い食感のピンサが新たにラインナップ。また売店では、健康に気遣う人に贈りたいお中元ギフトも登場します!